

-----PR-----
「あったらうける」をかたちに
コンピューター & チャット C & CのTonio's listeningroom はこちら
<http://www.gem.hi-ho.ne.jp/tokiok/>

ネットワーク対応白物家電開発進む
近年、ネットワーク家電の開発が進む中、ネットワーク対応の白物家電第1号が
早ければ今夏にも登場する。
今回発表されたのは、大阪の有限会社印田熱塗装が開発したコーヒーメーカー
「Javaポット」
社長の印田寅氏(35)によると、「不景気で仕事がないので、日がな一日、インタ
ーネットで遊んでいるうちに、大学のコーヒーメーカーの画像がリアルタイムに中継さ
れているのを見たんです。
せっかくだから、カメラ無しで分量がわかるコーヒーメーカーを作ってあげようと思
し出たら、向こうの学生さんが喜んで。」とのこと。
見たいには普通のコーヒーメーカーよりひとまわり大きいくらいだが、100%pure
Javaでhttpサーバー機能を実現しており、電源を入れネットワーク接続するだけ
で、コーヒーメーカーの画像をインターネット配信することが可能。
24時間稼働のため、コーヒーメーカー内のお湯は24時間風呂同様にレジオネ
ラ菌対策が施されている。また、ポットへの毒物混入についても、毒物センサが瞬
時に検知し、インターネット回線を通じて警察へ電子メールを自動的に送り、警報
を流すなど、あのザイエンス対策もパッチリである。

開発途中、通産省からはμTRONを、また、マイクロソフトからはWindows CE
の採用を迫られるという一幕があったそうだが、社長はJavaのロゴマークを使い
たいがために、100%pure Javaにこだわったという。「μTRONにはカッコいいロ
ゴマークが無いし、Linuxのペンギンは最近太っちゃったから嫌。Windows CEを
使うと、それだけで嫌われちゃいそうだもん。」とは印田氏の弁。町工場の親父に
しては、結構気にしいである。

通産省は、この「Javaポット」の普及により、インターネットのIPアドレス枯渇が一
層深刻化するとして、対応に追われている。今後、安易なネットワーク家電には厳
しい規制が課せられそう。特に、コーヒーメーカーの画像をインターネットで見る
のもう飽き飽きとして、後発メーカーには発売を認めないもよう。
印田氏は、ネットワーク家電第二弾として、インターネットで洗濯機中の様子が見
れる洗濯機「Javaジャバ」を作ると息巻いているが、洗濯機にJavaロゴのコーヒ
ーカップマークはないだろうと、JAROが近々調査に乗り出す見込み。

~~~~~  
この記事に対する希望、感想、応援、絶賛、驚愕、非難、中傷、怒号、  
罵倒、お捻りはtonioまで。  
なお、本文中の人名、社名、個別名称等、実在するものもありますが、  
記事内容の真偽のほどは一切検証しておりません。  
~~~~~

Copyright(C)、tonio、1999 掲載記事の無断転載したら泣いちゃうから。
